

言葉をつなぐ 心をつなぐ 家族をつなぐ

おやもりうたしずおかけんたいかい
親守詩静岡県大会

おやもりうた
親守詩コンクール

たんかさくひんきにゅうようし
短歌作品記入用紙【学校専用】

※この用紙をコピー
してお使いください。

親守詩（おやもりうた）とは、子どもが五・七・五で、親が七・七で、「感謝」と「親心」を表現する世界にたった一つの家族の短歌です。

日本には、親が子を育てるときに、その想いをこめてうたう「子守唄」があります。親が子を想う「子守唄」と同じように、子が親を想う「うた」があってもよいのではないのでしょうか。そう考えて生まれたのが「親守詩」です。子が親を想い、上の句[五・七・五]をつくり、親が下の句[七・七]でそれにこたえます。

（子どもと「祖父母」、「先生」など、身近な大人との作品でも構いません。）

親	子	応募作品
		〔作品例〕 (子) ママとよむ おやすみまえの おたのしみ (親) すなおになれる まほうのじかん (子) だっこだと かぜがうつるよ お父さん (親) 何を言ってる 親子じゃないか (子) お母さん ケンカしてても 話したい (親) 同じ気持ちで おもっているよ

応募する部門	幼児 小学生 中学生 一般（含む高校生） いずれかに○をつける
学校名	保育園・幼稚園 小 ・ 中 ・ 高等 学校
作成年度 学年	R 年度作成 作成した時の学年 年生
ふりがな お名前	男 女